1.電気設備計画概要

1-1　電気設備基本方針

（1）安心・安全に配慮した学校
・太陽光発電設備と蓄電池設備を組み合わせ、災害停電時でも安定した電力供給を確保します。
・非常用照明、誘導灯、拡声設備を適切に配置し、避難誘導および情報伝達の確実性を高める計画とします。
・敷地内に監視カメラを設置し、児童の安全を守る計画とします。
・「清瀬市地域防災計画」に準じたインフラや電気設備計画とします。
・耐震クラスは A 類※1 とします。
・建築設備の耐震安全性は乙類※2 とし、指定避難所の機能を満たす計画とします。

※1：独立行政法人　建築研究所 監修　「建築設備耐震設計・施工指針　2014 年版」
※2： 国土交通省大臣官房官庁営繕部 監修　「（平成 25 年制定）官庁施設の総合耐震・対津波計画基準及び同解説　令和 3 年版」

（2）環境性・社会性に配慮した学校
・清瀬市のゼロカーボンシティ宣言に基づき、清瀬市のモデル校となる「環境負荷低減」を目指した設計を行います。
・維持管理・更新を考慮した機器選定で、長期的な経済性を確保する計画とします。
・自然採光の活用や LED 照明、トイレ等に人感センサー、職員室等に昼光センサーを採用することで消費電力を削減し、ZEB Ready を達成します。

（3）快適性に配慮した学校
・教室や廊下などの用途に応じた照明や点滅範囲を設定し、児童の視認性を向上させ学習に適した快適な空間を実現する計画とします。
・適切な照度とまぶしさに配慮した照明計画により、児童が快適に学習・活動できる環境を確保します。
・スイッチや操作パネルを操作しやすい位置に配置し、児童・教職員・地域住民が使いやすい計画とします。

（4）維持管理性に配慮した学校
・受変電設備等は点検スペースや更新時の搬出入動線を確保し、保守作業が容易な配置とします。
・低圧幹線はケーブルラックを用いて点検や更新しやすい幹線経路とします。
・学校開放時の使用区分に応じたセキュリティ計画と点滅区分を適切に設定し、柔軟な運用ができる計画とします。

1-2　適用基準

下記の法令、設計基準及び仕様書に遵守し設計を行います。
・建築基準法
・その他建築関係法
・公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）（令和 4 年版）
・公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）（令和 4 年版）
・建築設備計画基準（令和 6 年版）
・建築設備設計基準（令和 6 年版）
・東京都電気設備工事標準仕様書（令和 2 年版）
・予防事務審査・検査基準Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ（令和 2 年版）
・官庁施設の総合耐震・対津波計画基準及び同解説（令和 3 年版）
・公共建築物整備の基本指針（平成 23 年版）
・小学校施設整備指針（令和 4 年版）
・小学校設置基準（平成 19 年版）

1-3　電気設備（強電設備）計画

１．電灯設備

1-1．電灯幹線

・受変電設備の配電盤２次側以降、各電源盤設置、及び電源盤へ至る配管・ケーブルの敷設を行います。
・各盤へ至る幹線ケーブルは将来の更新性を考慮し、単独幹線方式とします。ただし、極端に容量の小さい盤については経済性を考慮し、幹線分岐方式の採用を検討します。
・盤類は鋼板製自立型を基本とし、屋外は防水仕様とします。ＥＰＳ内は点検スペース確保のため外扉なしとします。
・厨房用電源盤は調理業務の外部委託を想定し、電力量計を設ける計画とします。
・形式

電気方式	電灯	単相３線２１０Ｖ／１０５Ｖ
配線方式	一般幹線	ＥＭ―ＣＥケーブル、ＥＭ―ＣＥＴケーブル
	防災幹線	ＥＭ―ＦＰケーブル
配管方式	シャフト内部	ケーブルラック
	廊下等屋内	金属管、ケーブルラック
	屋外、機械室	金属管、ケーブルラック

・適用事項
各特別教室内の機器には特別教室専用電源盤より電源供給します。
各電源盤内には将来負荷の増加に対応可能な予備回路及び予備スペースを見込みます。
ケーブルラックには将来増設ケーブル用に予備スペースを見込みます。

1-2．電灯・コンセント分岐

・電灯分電盤以降、各負荷に至る配管・ケーブルおよび器具の取り付けを行います。
・電灯設備は、室の形態、利用内容に応じた照度を確保し、良質な光が得られる器具を選定します。
照度基準はＪＩＳ　Ｚ９１１０:２０１０、文部科学省の学校環境衛生管理マニュアルに準拠した計画とします。
・コンセント設備は、室の形態、設置機器や運動環境に応じた形式、容量のコンセントを設置します。
・職員室に照明集中リモコンを設置し、リモコンスイッチ採用エリアの遠隔操作を行います。
・外構照明は省エネ性に配慮しソーラータイムスイッチを採用、深夜消灯を行います。

・適用事項
点滅区分を細分化し、必要な場所のみ点灯させることで不要な電力を削減します。
トイレ、階段等を人感センサー制御、普通教室、更衣室等をタンブラスイッチ、職員室、給食室、アリーナ等をフル２線リモコンスイッチにて制御を行います。
詳細は諸元表参照とします。

1-3．非常照明・誘導灯分岐

・建築基準法及び消防法に準拠し、非常照明・誘導灯設備を設置します。
・形式

非常照明	ＬＥＤ　電池一体型
誘導灯	ＬＥＤ　電池一体型
	ＬＥＤ　避難口・通路誘導灯　電池内蔵型
	ＬＥＤ　階段通路誘導灯　電池内蔵型

２．動力設備

2-1．動力幹線

・受変電設備の配電盤２次側以降、各電源盤設置、及び電源盤へ至る配管・ケーブルの敷設を行います。
・各盤へ至る幹線ケーブルは将来の更新性を考慮し、単独幹線方式とします。ただし、極端に容量の小さい盤については経済性を考慮し、幹線分岐方式の採用を検討します。
・盤類は鋼板製自立型を基本とし、屋外は防水仕様とします。ＥＰＳ内は点検スペース確保のため外扉なしとします。
・厨房用電源盤は調理業務の外部委託を想定し、電力量計を設ける計画とします。
・形式

電気方式	動力	三相３線２１０Ｖ
配線方式	一般幹線	ＥＭ―ＣＥケーブル、ＥＭ―ＣＥＴケーブル
	防災幹線	ＥＭ―ＦＰケーブル
配管方式	シャフト内部	ケーブルラック
	廊下等屋内	金属管、ケーブルラック
	屋外、機械室	金属管、ケーブルラック

・適用事項
各特別教室内の機器には特別教室専用電源盤より電源供給します。
各電源盤内には将来負荷の増加に対応可能な予備回路及び予備スペースを見込みます。
ケーブルラックには将来増設ケーブル用に予備スペースを見込みます。

2-2．動力分岐

・動力制御盤以降、各負荷に至る配管・ケーブルおよび器具の取り付けを行います。
・動力負荷はインバータ制御を除き１１ｋＷを下回る場合は直入れ指導、１１ｋＷ以上はスターデルタ始動とします。
・職員室に警報盤を設け、受変電設備や動力負荷等の警報を表示します。
・形式

電気方式		三相３線２１０Ｖ
配線方式	一般幹線	ＥＭ―ＣＥケーブル、ＥＭ―ＣＥＴケーブル
	防災幹線	ＥＭ―ＦＰケーブル
配管方式	屋外、機械室	金属管、ケーブルラック

３．受変電設備
・屋上に屋外型キュービクル式受変電設備を設置し、各電源盤へ電力供給を行います。
・敷地外より三相３線６.６ｋＶ　１回線を東側敷地境界線にキャビネットを設けて地中より引込みます。
以降地中埋設配管にて校舎に引入れ、屋上のキュービクルまで高圧幹線を敷設します。
・デマンドモニターを受変電設備内に設置し、職員室に設けた警報盤に警報を出力します。
・敷地の有効活用や意匠性への影響低減、浸水リスクの回避を重視し、屋上に設置します。
・高調波対策として高圧側に進相コンデンサ及び直列リアクトルを設置します。
・インバータ負荷を考慮し、適正な容量を選定します。

・配電電圧
受電線圧：三相３線式６，６００Ｖ　５０Ｈｚ　１回線

・機器仕様

変圧器	油入式変圧器	
主遮断機	真空遮断器（ＶＣＢ）	
設備容量（想定）	単相変圧器	１００ｋＶＡ　×　３台
	三相変圧器	５００ｋＶＡ　×　２台
	合計容量	１３００ｋＶＡ

・適用事項
個体伝搬及び空気伝搬に対して防振対策を施します。

４．太陽光発電設備
・東京都建築物環境計画書制度の準拠及び災害時の非常用電源確保のため太陽光発電設備の設置をします。
・屋上に太陽光発電設備を設置します。
・太陽光発電の見える化として、昇降口に表示装置を設置します。
・太陽光発電設備と蓄電池設備を組み合わせ、災害停電時でも安定した電力供給を確保します。
・形式
単結晶系太陽電池

・機器仕様

発電電力	４０ｋW程度
構成機器	太陽光発電パネル、パワーコンディショナ、データ計測装置、気温計日射計、液晶装置

・蓄電池

容量	１２．６ｋWh×２ユニット（２５．２ｋWh）
機器構成	パワーステーション、コンバータ、蓄電池

・自立運転時のコンセント設置場所は、職員室、保健室、１，２階廊下、１，２階トイレ、アリーナとします。

1-4　電気設備（弱電設備）計画

1-4　電気設備（弱電設備）計画

1．構内情報通信網設備（ＬＡＮ設備）

・教育の情報通信技術化を支え、児童の学習環境や教職員の業務環境を向上させる目的として、構内情報通信網設備を設置します。

・サーバー類は別途工事にて職員室に設置します。以降建物内は、端子盤より各ＥＰＳ内各端子盤までのケーブルラック・配管の敷設及び室の仕様形態、設置機器を考慮し必要箇所に配管、裏ボックスを設置します。

・形式

本工事	配管、ボックス、電源供給、スペース確保
別途工事	サーバー、ＨＵＢ、配線、モジュラージャック、システム調整

・適用事項

各端子盤内には将来負荷増加に対応可能な予備スペースを見込みます。

ケーブルラックには将来増設ケーブル用に予備スペースを見込みます。

2．構内交換機設備（ＴＥＬ設備）

・連絡手段の確保と安全・緊急対応のため構内交換設備を設置します。

・ＭＤＦを職員室に設置します。以降建物内は、ＭＤＦより各ＥＰＳ内各端子盤までのケーブルラック・配管の敷設を行います。室形態や設置機器を考慮し、必要箇所にモジュラージャック用ボックスを設置します。

・形式

本工事	配管、ボックス、電源供給、スペース確保
別途工事	電話交換機、電話機、配線、モジュラージャック、システム調整

・適用事項

職員室に主装置をまとめる総合監視盤を設置します。

各端子盤内には将来負荷増加に対応可能な予備スペースを見込みます。

ケーブルラックには将来増設ケーブル用に予備スペースを見込みます。

3．時刻表示装置設備

・施設内の各所にて時間を認識する目的として時計設備を設置します。

・形式

本工事	親時計、大型時計（有線）、子時計（無線）、無線時計用アンテナ

・機器仕様

親時計設置場所	職員室
大型時計設置場所	校庭、アリーナ
子時計設置場所	各階普通教室、各特別教室等

4．映像・音響設備

・音響設備を多目的室、アリーナ、音楽室に設ける計画とします。

・多目的室

主装置形式	：ワゴンアンプ
音響付加機能	：メインスピーカー
映像付加機能	：液晶プロジェクター（可搬式）、手動スクリーン（１００型）
接続想定機器	：ワイヤレスアンテナ
マイク仕様	：ワイヤレスマイク（ハンド型、タイピン型）
その他	：ワゴン接続盤、マイクスタンド

・アリーナ

主装置形式	：ワゴンアンプ
音響付加機能	：メインスピーカー、サブスピーカー
接続想定機器	：ワイヤレスアンテナ（防球ガード付）
マイク仕様	：ワイヤレスマイク、（ハンド型、タイピン型）、有線マイク
その他	：ワゴン接続盤、マイクコンセント、マイクスタンド

・音楽室

主装置形式	：ワゴンアンプ
音響付加機能	：メインスピーカー
接続想定機器	：ワイヤレスアンテナ
マイク仕様	：集音マイク、ワイヤレスマイク（ハンド型）
その他	：ワゴン接続盤、マイクスタンド

5，拡声設備

・校内放送を行うため、拡声設備を設置し用途毎に区分して放送出来るシステムを計画します。また、安全性に考慮し、自主設置にて非常・業務用放送兼用とします。

・スピーカーの配置等は消防法に準拠して計画します。

・機器仕様

アンプ仕様	ラック型
設置場所	職員室

・適用事項

リモートマイクを職員室に設置します。

デスクアンプを放送室に設置します。

定時放送が可能な計画とします。

６．誘導支援設備

6-1．トイレ等呼出表示

・トイレ呼出ボタンをバリアフリートイレに設け、職員室、学童事務室に表示器を設ける計画とします。

・適用事項

呼出ボタンは紐付きとし、通話機能はなしとします。

転倒時の対応として、呼出ボタンをバリアフリートイレ内に２箇所設ける計画とします。

6-2．インターホン設備

・来訪者の確認のためインターホン設備を設置します。

・校舎への来客用インターホンを正門に設け、職員室にインターホン親機を設ける計画とします。

・学童への来客用インターホンを学童出入口に設け、学童事務室にインターホン親機を設ける計画とします。

・給食室用インターホンを搬入口に設け、休憩室にインターホン親機、荷受室、調理室にパトランプを設ける計画とします。

・適用事項

エレベータ用インターホンに対応するため、機器間の配管配線を設けます。

７．テレビ共同受信設備

・アンテナを屋上に設け、必要室にテレビアウトレットを設置しテレビ及びラジオ放送の受信を可能とします。

・将来ＣＡＴＶの引込み対応として埋設空配管及び建物内に経路を確保します。

・機器仕様

テレビアンテナ	ＵＨＦ、ＣＳ／ＢＳ、ＣＡＴＶ
ラジオアンテナ	ＦＭ

８．監視カメラ設備

・生徒の安全性を考慮して構内に監視カメラを設置します。

・敷地境界線沿いに監視カメラを配置し、敷地外からの不審者侵入や異常事態を早期に検知するとともに、建物の出入口にも監視カメラを設置して人や物の出入り状況を把握し、防犯および安全管理の強化を図ります。

・監視カメラに撮影された映像を見るためのモニターと録画装置を職員室に設置します。

・機器及び配線は別途工事とします。

・形式

本工事	配管、ボックス、電源供給、スペース確保
別途工事	主装置、監視カメラ、モニター、録画装置、配線、試験調整

９．機械警備配管設備

・児童・教職員の安全確保のため学校全体のセキュリティレベルを高めるため機械警備設備の設置をします。

・機器及び配線は別途工事とします。

・形式

本工事	配管、ボックス、電源供給
別途工事	主装置、配線、モジュラージャック、試験調整

１０．火災報知設備

・消防法に準拠し、火災報知設備を計画します。

・感知器の配置等は消防法に準拠して計画します。

・機器仕様

受信機仕様	Ｐ型
受信機設置場所	職員室

・適用事項

副受信機を学童事務室に設置します。

１１．構内配電路設備（電力引込み、外灯等）

・建物東側にキャビネットを設け、電力会社より電力の地中引込みを行います。

・夜間の照度確保として外灯の計画を行います。

１２．構内通信路設備（通信引込み、屋外弱電設備等）

・通信会社より通信の地中引込みを行います。

・その他必要箇所に屋外スピーカー等の計画を行います。

2.電気設備諸元表

■清瀬市新校舎建設工事 電気設備諸元表

【注記】
※1｜照明器具形状は参考とし、詳細設計により変更の可能性があります。
※2｜表に記載している照度同等以上を確保いたします。
※3｜情報・電話設備は配管ボックスのみ本工事とし、その他は別途工事とします。
※4｜提出済みの提案書を正として記載しております。

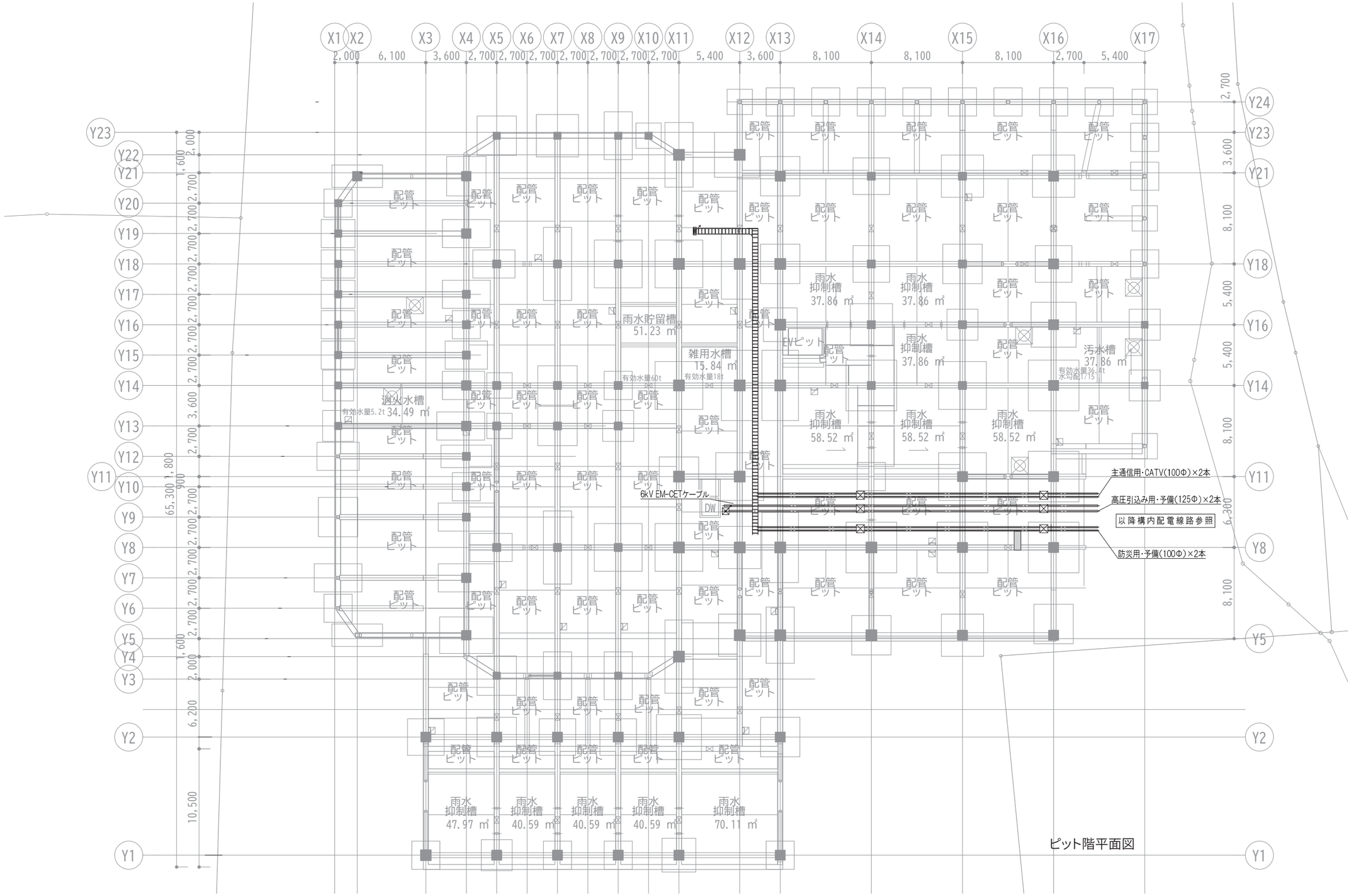
カテゴリー	階	室名	電灯設備								弱電設備														その他
			器具形状 ※1	基準照度(lx) ※2	照明制御				備考	コンセント		情報・電話設備 ※3		拡声設備			映像・音響設備 ※4		インターホン		トイレ呼出	テレビ端子	監視カメラ	火災報知設備		
					タンブラ	リモコン	人感	調光		一般	備考	LANﾓｼﾞｭﾗ	TELﾓｼﾞｭﾗ	機器	ｽﾋﾟｰｶｰ	ATT	ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾀｰ	音響機器	親機	子機				機器	感知器	
共通	2F～4F	普通教室	直付ﾍﾞｰｽﾗｲﾄ	500	○					○		○				○						○			
共通	1F,2F	特別支援学級	埋込ﾍﾞｰｽﾗｲﾄ	500	○					○		○				○						○			
共通	2F～4F	L	埋込ﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ	200		○				○		○				○						○			
共通	1F～4F	配膳	埋込ﾍﾞｰｽﾗｲﾄ	300			○			○			○												
共通	1F～4F	WC	埋込ﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ	100			○		ﾌﾟｰｽ内人感一体器具設置	○															
共通	1F～4F	HWC	埋込ﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ	100			○			○											○				
共通	1F～4F	EPS・PS・DS	直付ﾍﾞｰｽﾗｲﾄ	100	○					○															
共通	1F～4F	給湯器置場	直付ﾍﾞｰｽﾗｲﾄ	100			○			○															
共通	1F～4F	階段	直付ﾍﾞｰｽﾗｲﾄ	200			○		階数サイン+非常照明	○										○					
共通	1F～4F	倉庫・備品庫	直付ﾍﾞｰｽﾗｲﾄ	100	○					○															
共通	1F～4F	更衣室	直付ﾍﾞｰｽﾗｲﾄ	200	○					○															
共通	1F～4F	廊下・前室	埋込ﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ	200	別紙照明制御色塗図参照					○															
共通	2F～4F	ワークスペース・アトリウム	埋込ﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ	500						○		○										○			
育成室	1F	学童CR	埋込ﾍﾞｰｽﾗｲﾄ	500	○					○		○	○		消防法に準拠して計画	○						○		消防法に準拠して計画	
育成室	1F	学童事務	埋込ﾍﾞｰｽﾗｲﾄ	750		○				○		○	○			○				(B)	表示器	○			表示器は学童HWC用
育成室	1F	学童昇降口	埋込ﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ	200		○				○									(B)						
管理諸室	1F	相談ｶｳﾝｾﾘﾝｸﾞ	埋込ﾍﾞｰｽﾗｲﾄ	300	○					○		○	○			○									
管理諸室	1F	応接	埋込ﾍﾞｰｽﾗｲﾄ	300	○					○		○	○			○						○			
管理諸室	1F	給湯	埋込ﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ	200			○			○															
管理諸室	1F	教材作成	埋込ﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ	300	○					○		○													
管理諸室	1F	教材ﾗｳﾝｼﾞ	埋込ﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ	200			○			○		○													
管理諸室	1F	印刷室	埋込ﾍﾞｰｽﾗｲﾄ	300			○			○		○	○												
管理諸室	1F	校長室	埋込ﾍﾞｰｽﾗｲﾄ	500	○					○	OA対応	○	○			○						○		副受信機	
管理諸室	1F	職員室・事務室	埋込ﾍﾞｰｽﾗｲﾄ	750		○				○	OA対応	○	○	○、RM		○			(A)		表示器	○	モニター	受信機	
管理諸室	1F	児童会	埋込ﾍﾞｰｽﾗｲﾄ	300	○					○		○	○			○						○			
管理諸室	1F	地域連帯PTA	埋込ﾍﾞｰｽﾗｲﾄ	300	○					○	OA対応	○	○			○						○			
管理諸室	1F	保健室	埋込ﾍﾞｰｽﾗｲﾄ	500	○					○		○	○			○						○			
管理諸室	1F	用務	埋込ﾍﾞｰｽﾗｲﾄ	300	○					○		○	○			○						○			
給食室	1F	下処理	直付ﾍﾞｰｽﾗｲﾄ	500		○			HACCP対応、防雨防湿型	○															
給食室	1F	荷受	直付ﾍﾞｰｽﾗｲﾄ	500			○		HACCP対応、防雨防湿型	○										(C)					
給食室	1F	休憩	埋込ﾍﾞｰｽﾗｲﾄ	300		○				○		○	○			○			(C)			○			
給食室	1F	計量	直付ﾍﾞｰｽﾗｲﾄ	500		○			HACCP対応、防雨防湿型	○															
給食室	1F	検収	直付ﾍﾞｰｽﾗｲﾄ	500		○			HACCP対応、防雨防湿型	○															
給食室	1F	玄関	埋込ﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ	200		○				○															
給食室	1F	洗浄	直付ﾍﾞｰｽﾗｲﾄ	500		○			HACCP対応、防雨防湿型	○															

■清瀬市新校舎建設工事 電気設備諸元表

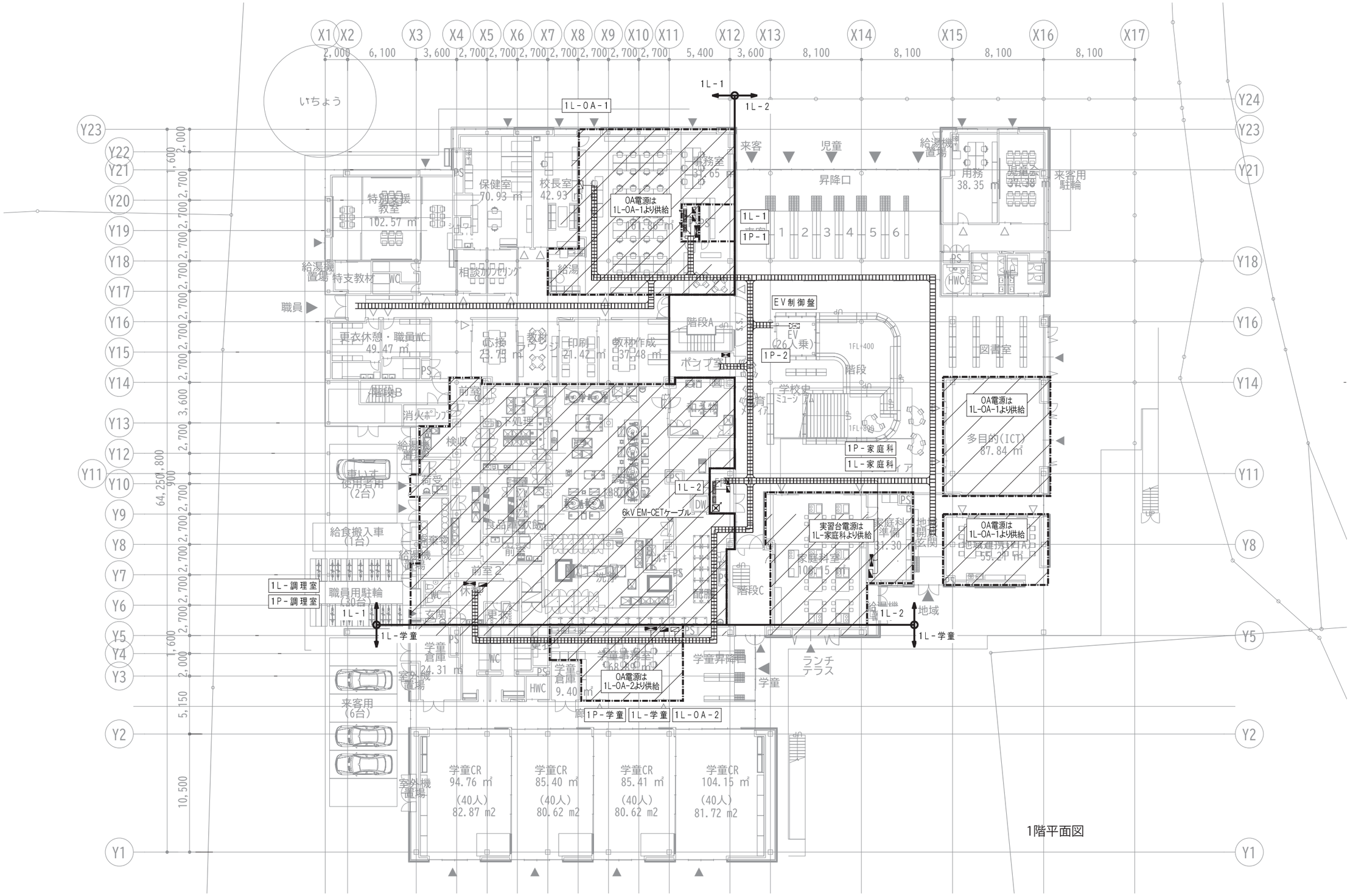
【注記】
※1｜照明器具形状は参考とし、詳細設計により変更の可能性があります。
※2｜表に記載している照度同等以上を確保いたします。
※3｜情報・電話設備は配管ボックスのみ本工事とし、その他は別途工事とします。
※4｜提出済みの提案書を正として記載しております。

カテゴリー	階	室名	電灯設備									弱電設備														その他
			器具形状 ※1	基準照度(lx) ※2	照明制御				備考	コンセント		情報・電話設備 ※3		拡声設備			映像・音響設備 ※4		インターホン		トイレ呼出	テレビ端子	監視カメラ	火災報知設備		
					タンブラ	リモコン	人感	調光		一般	備考	LANﾓｼﾞｭﾗ	TELﾓｼﾞｭﾗ	機器	スピーカー	ATT	ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾀｰ	音響機器	親機	子機				機器	感知器	
給食室	1F	調理	直付ﾍﾞｰｽﾗｲﾄ	500		○			HACCP対応、防雨防湿型	○										(C)						
給食室	1F	配膳	直付ﾍﾞｰｽﾗｲﾄ	500		○			HACCP対応、防雨防湿型	○																
給食室	1F	前室	直付ﾍﾞｰｽﾗｲﾄ	200			○		HACCP対応、防雨防湿型	○																
給食室	1F	通路	直付ﾍﾞｰｽﾗｲﾄ	200			○			○																
給食室	1F	和え物	直付ﾍﾞｰｽﾗｲﾄ	500		○			HACCP対応、防雨防湿型	○																
給食室	1F	廃棄物	直付ﾍﾞｰｽﾗｲﾄ	200	○				防雨防湿型	○																
特別教室	1F	多目的(ICT)	埋込ﾍﾞｰｽﾗｲﾄ	500		○		○		○		○				○	○	○				○				
特別教室	1F	家庭科準備	直付ﾍﾞｰｽﾗｲﾄ	300	○					○	OA対応															
特別教室	1F	家庭科室	埋込ﾍﾞｰｽﾗｲﾄ	500	○					○		○				○						○				
特別教室	1F	図工室	埋込ﾍﾞｰｽﾗｲﾄ	500	○					○		○				○						○				
特別教室	1F	図工準備	直付ﾍﾞｰｽﾗｲﾄ	300	○					○																
廊下	1F	昇降口	埋込ﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ	200		○				○										(A)			○			
廊下	1F	エントランスホール	埋込ﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ	200		○				○		○										○				
廊下	1F	雨水ポンプ	直付ﾍﾞｰｽﾗｲﾄ	200	○					○																
										○					消防法に準拠して計画										消防法に準拠して計画	
体育施設	2F	アリーナ	高天井器具	500		○				○		○	○			○		○				○				
体育施設	2F	ステージ	直付ﾍﾞｰｽﾗｲﾄ	500		○				○		○	○			○						○				
体育施設	2F	ピアノ庫	直付ﾍﾞｰｽﾗｲﾄ	100	○					○																
体育施設	2F	器具庫	直付ﾍﾞｰｽﾗｲﾄ	100	○					○																
図書・ラー	2F	絵本コーナー	埋込ﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ	300		○				○																
特別支援	2F	カームダウン	埋込ﾍﾞｰｽﾗｲﾄ	300	○					○		○				○										
廊下	2F	階段ホール	埋込ﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ	200	別紙照明制御色塗図参照					○																
図書・ラー	2F	図書カウンター	埋込ﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ	300		○				○		○	○													
図書・ラー	3F	図書室	埋込ﾍﾞｰｽﾗｲﾄ	500	○					○		○	○			○						○				
図書・ラー	3F	放送	埋込ﾍﾞｰｽﾗｲﾄ	300	○					○		○	○	DA		○										
特別教室	3F	WS	埋込ﾍﾞｰｽﾗｲﾄ	500	○					○		○														
特別教室	3F	理科準備	直付ﾍﾞｰｽﾗｲﾄ	300	○					○																
特別教室	3F	理科室	埋込ﾍﾞｰｽﾗｲﾄ	500	○					○		○				○						○				
廊下	3F	階段ホール	埋込ﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ	200	別紙照明制御色塗図参照					○																
図書・ラー	4F	軽読書コーナー	埋込ﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ	500	○					○		○														
特別教室	4F	音楽室	埋込ﾍﾞｰｽﾗｲﾄ	500	○					○		○				○		○				○				
特別教室	4F	音楽準備	直付ﾍﾞｰｽﾗｲﾄ	300	○					○																
特別教室	4F	楽器庫	直付ﾍﾞｰｽﾗｲﾄ	200	○					○																
廊下	4F	階段ホール	埋込ﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ	200	別紙照明制御色塗図参照					○																

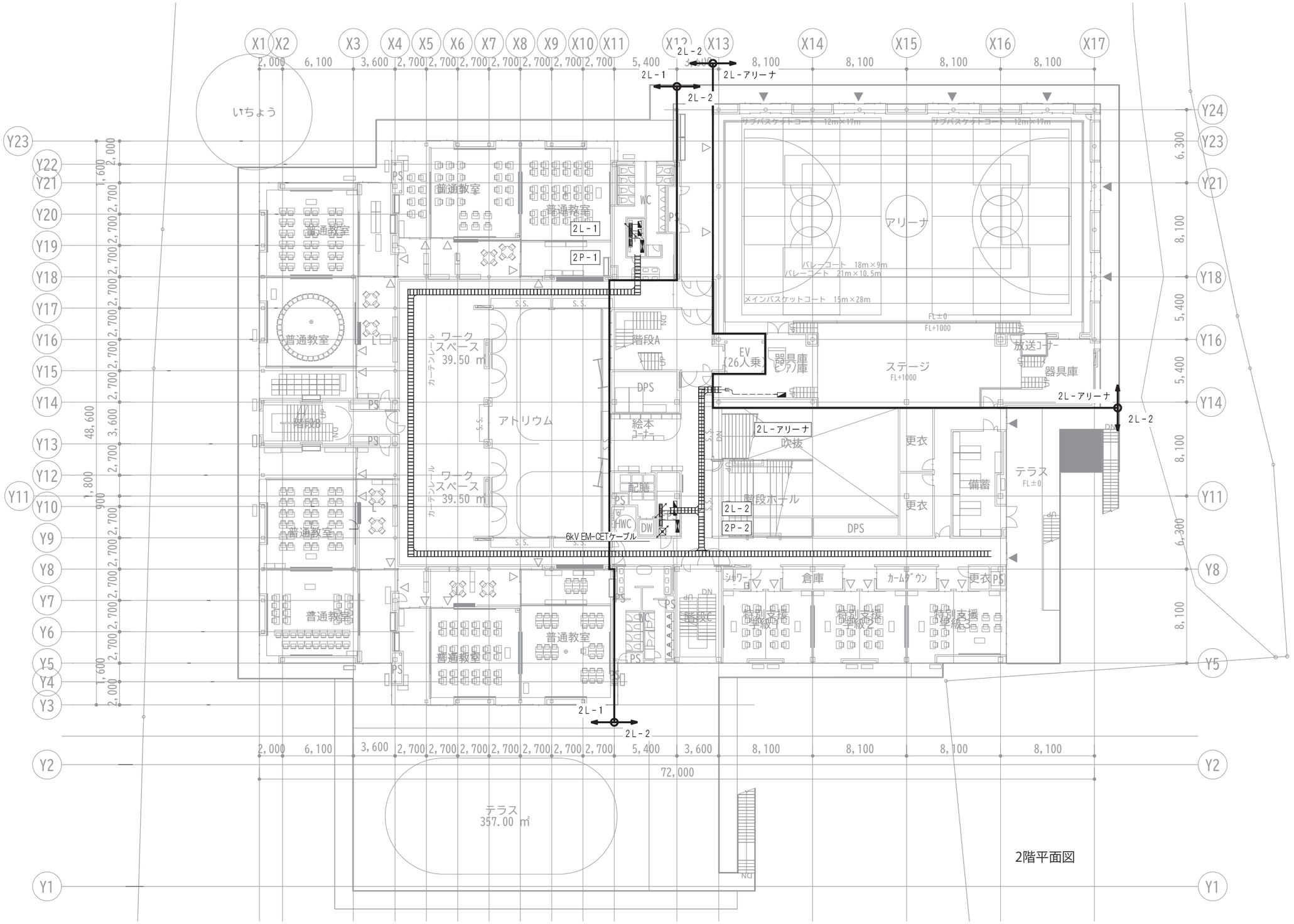
3.電灯・動力設備（幹線設備）　平面図・系統図

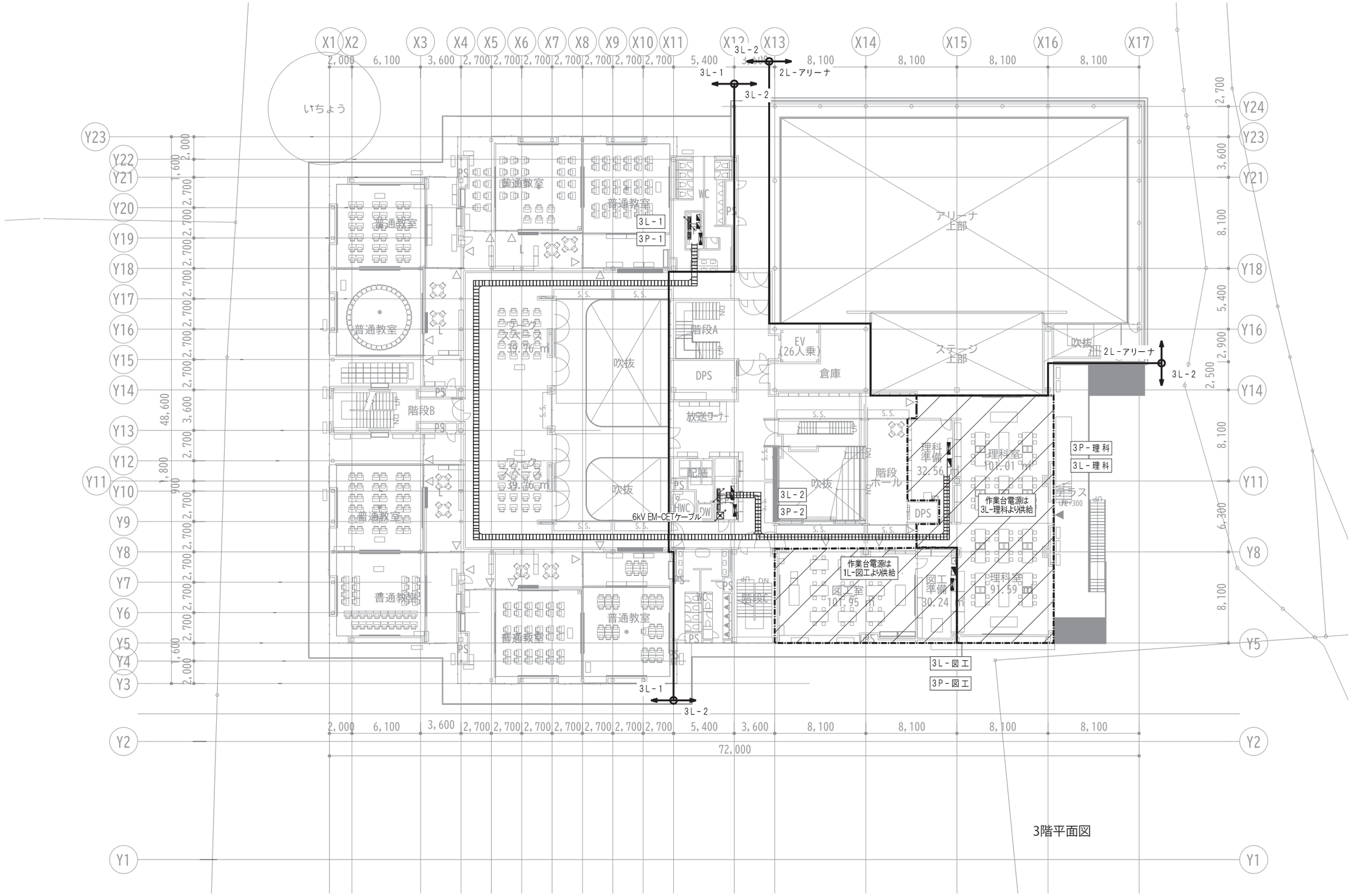


ピット階平面図

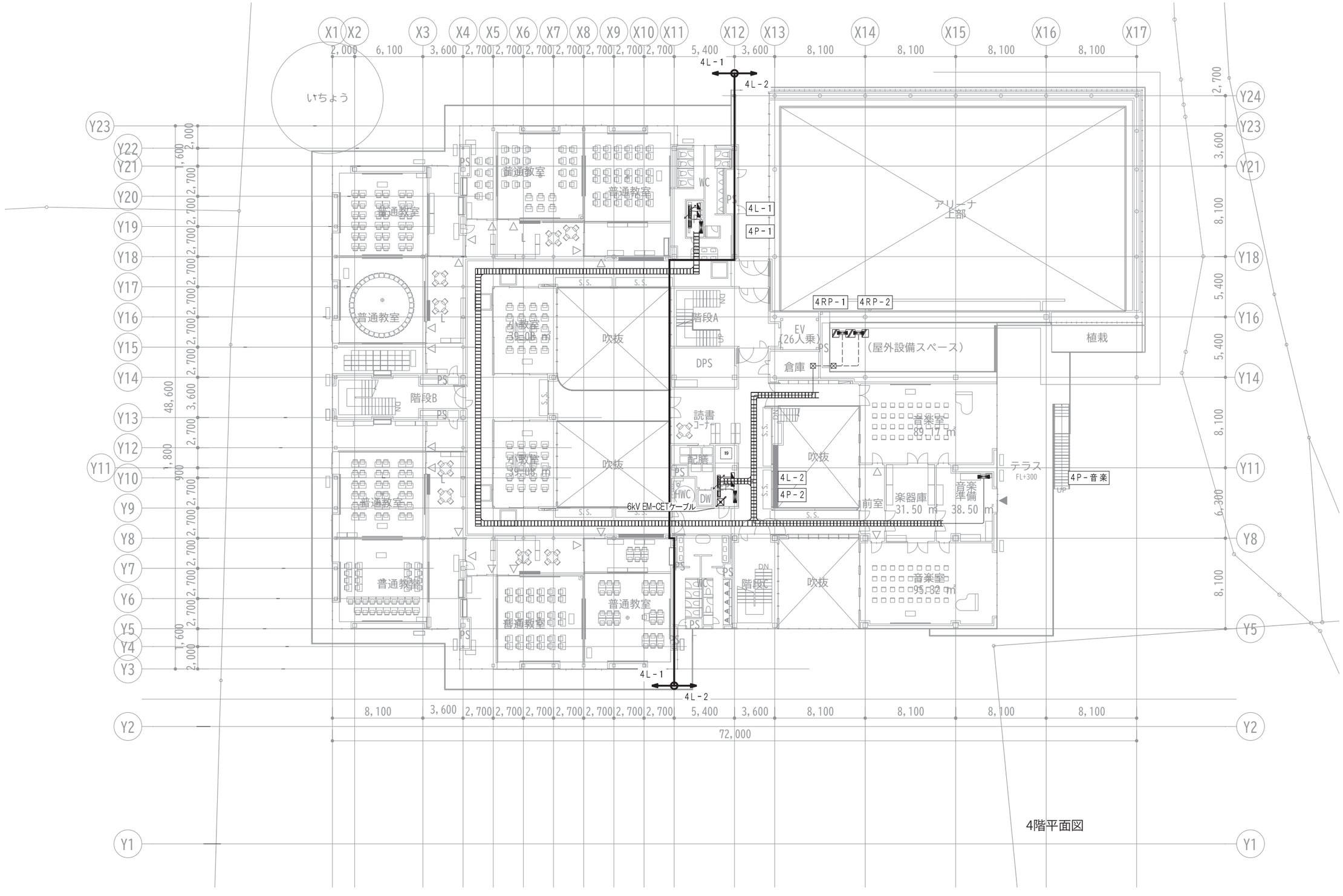

X1 X2 X3 X4 X5 X6 X7 X8 X9 X10 X11 X12 X13 X14 X15 X16 X17
2,000 6,100 3,600 2,700 2,700 2,700 2,700 2,700 2,700 2,700 5,400 3,600 8,100 8,100 8,100 8,100
Y24 Y23 Y22 Y21 Y20 Y19 Y18 Y17 Y16 Y15 Y14 Y13 Y12 Y11 Y10 Y9 Y8 Y7 Y6 Y5 Y4 Y3 Y2 Y1
64,250,800
10,500
いちょう
1L-OA-1
1L-1
1L-2
1P-1
1P-2
来客
児童
昇降口
給湯機置場
用務 38.35 ㎡
児童会 34.38 ㎡
来客用駐輪
保健室 70.93 ㎡
校長室 42.93 ㎡
看務室 31.65 ㎡
OA電源は 1L-OA-1より供給
特別支援教室 102.57 ㎡
給湯機置場
特支教材
WC
相談カウンター
給湯
職員
更衣休憩・職員WC 49.47 ㎡
応接 23.79 ㎡
ラウンジ
印刷 21.42 ㎡
教材作成 37.48 ㎡
EV制御盤
EV (26人乗)
階段A
ポンプ室
1FL+400
階段
図書室
階段B
消火ポンプ
前室
下処理
検収
学校史ミュージアム
1P-家庭科
1L-家庭科
多目的(ICT) 87.84 ㎡
車いす使用者用 (2台)
給食搬入車 (1台)
職員用駐輪 (30台)
来客用 (6台)
6kV EM-CETケーブル
食品庫(炊飯)
前室2
家庭科準備 31.30 ㎡
家庭科室 108.15 ㎡
実習台電源は 1L-家庭科より供給
地域開放玄関
地域建携スペース 55.20 ㎡
OA電源は 1L-OA-1より供給
階段C
1L-調理室
1P-調理室
1L-学童
学童倉庫 24.31 ㎡
学童倉庫 9.40 ㎡
学童昇降口
ランチテラス
学童
OA電源は 1L-OA-2より供給
1P-学童
1L-OA-2
学童CR 94.76 ㎡ (40人) 82.87 m2
学童CR 85.40 ㎡ (40人) 80.62 m2
学童CR 85.41 ㎡ (40人) 80.62 m2
学童CR 104.15 ㎡ (40人) 81.72 m2
室外機置場

1階平面図

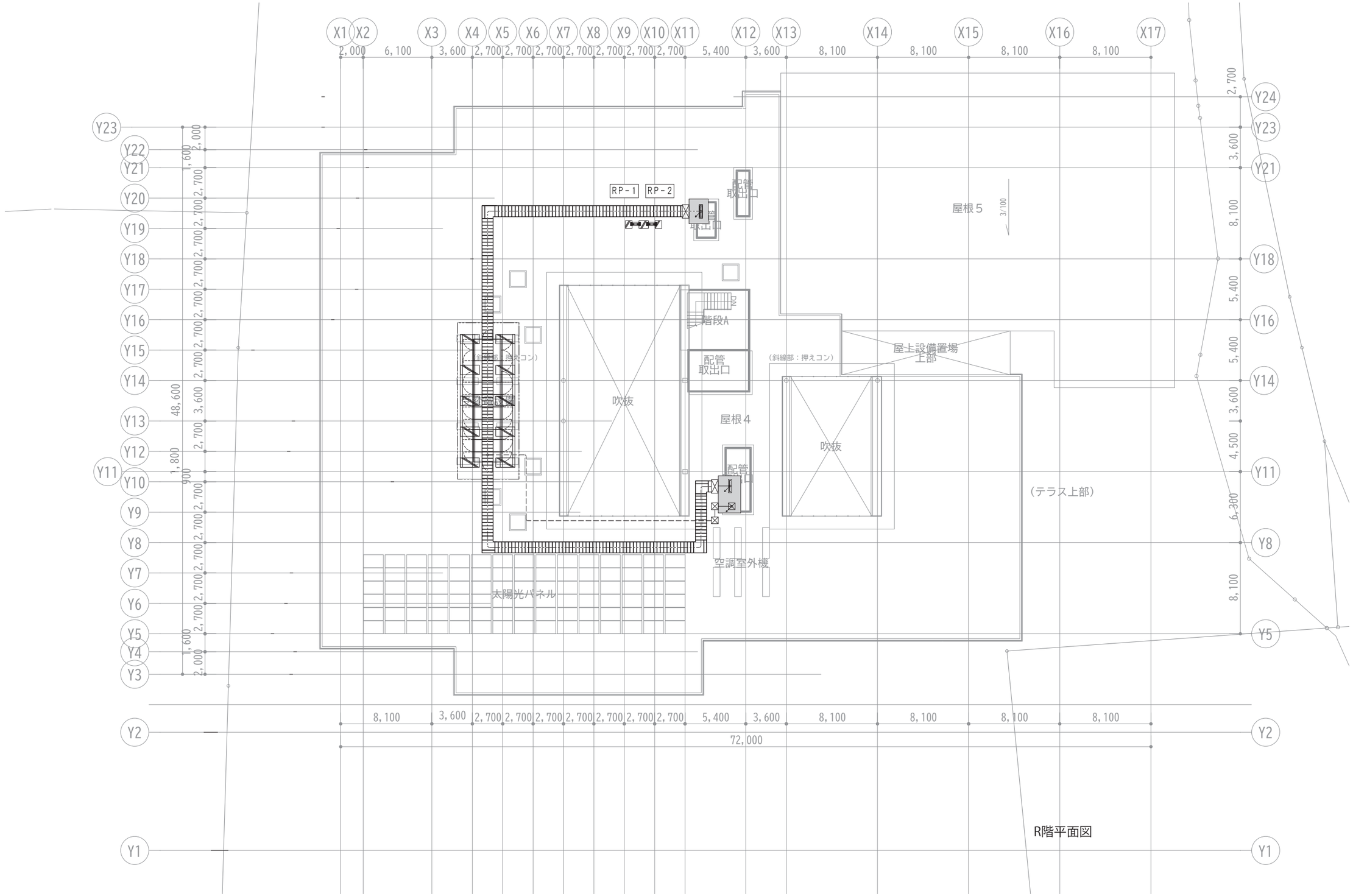

普通教室
ワークスペース 39.50 ㎡
アトリウム
階段A
EV (26人乗
器具庫
ピアノ庫
ステージ FL+1000
アリーナ
サブバスケットコート 12m×17m
バレーコート 18m×9m
バレーコート 21m×10.5m
メインバスケットコート 15m×28m
放送ユニット
絵本コーナー
吹抜
更衣
備蓄
テラス FL±0
階段ホール
DPS
倉庫
シャワー
カームダウン
特別支援学級1
特別支援学級2
特別支援学級3
テラス 357.00 ㎡
6kV EM-CET ケーブル
2L-1
2L-2
2L-アリーナ
2P-1
2P-2
72,000
2階平面図


X1 X2 X3 X4 X5 X6 X7 X8 X9 X10 X11 X12 X13 X14 X15 X16 X17
2,000 6,100 3,600 2,700 2,700 2,700 2,700 2,700 2,700 2,700 5,400 3,600 8,100 8,100 8,100 8,100
Y24 Y23 Y21 Y18 Y16 Y14 Y11 Y8 Y5 Y2 Y1
2,700 3,600 8,100 5,400 2,900 2,500 8,100 6,300 8,100
Y23 Y22 Y21 Y20 Y19 Y18 Y17 Y16 Y15 Y14 Y13 Y12 Y11 Y10 Y9 Y8 Y7 Y6 Y5 Y4 Y3
2,000 1,600 2,700 2,700 2,700 2,700 2,700 2,700 2,700 2,700 3,600 2,700 48,600 1,800 900 2,700 2,700 2,700 2,700 2,700 2,700 1,600 2,000
いちょう
普通教室
階段B
階段A
吹抜
DPS
放送ヤード
39.76㎡
39.56㎡
配膳
WC
HWC
DW
EV (26人乗)
倉庫
アリーナ上部
ステージ上部
吹抜
階段ホール
理科準備 32.56㎡
理科室 101.01㎡
理科室 91.59㎡
図工室 101.95㎡
図工準備 30.24㎡
テラス
3L-1
3P-1
3L-2
2L-アリーナ
3P-理科
3L-理科
3L-2
3P-2
3L-図工
3P-図工
6kV EM-CET ケーブル
作業台電源は 3L-理科より供給
作業台電源は 1L-図工より供給
3L-1
3L-2
2,000 6,100 3,600 2,700 2,700 2,700 2,700 2,700 2,700 2,700 5,400 3,600 8,100 8,100 8,100 8,100
72,000

3階平面図


X1 X2 X3 X4 X5 X6 X7 X8 X9 X10 X11 X12 X13 X14 X15 X16 X17
2,000 6,100 3,600 2,700 2,700 2,700 2,700 2,700 2,700 2,700 5,400 3,600 8,100 8,100 8,100 8,100
Y23 Y22 Y21 Y20 Y19 Y18 Y17 Y16 Y15 Y14 Y13 Y12 Y11 Y10 Y9 Y8 Y7 Y6 Y5 Y4 Y3 Y2 Y1
2,000 1,600 2,700 2,700 2,700 2,700 2,700 2,700 2,700 3,600 2,700 1,800 900 2,700 2,700 2,700 2,700 2,700 1,600 2,000
48,600
2,700 3,600 8,100 5,400 8,100 6,300 8,100 5,400 8,100
いちょう
普通教室
階段B
階段A
階段C
吹抜
WC
PS
DPS
DW
HWC
S.S.
4L-1
4L-2
4P-1
4P-2
4RP-1
4RP-2
4P-音楽
6kV EM-CET ケーブル
アリーナ
上部
EV
(26人乗)
(屋外設備スペース)
倉庫
植栽
読書
コーナー
配膳
前室
楽器庫
31.50 ㎡
音楽
準備
38.50 ㎡
音楽室
89.17 ㎡
音楽室
95.32 ㎡
テラス
FL+300
UP
DN
72,000

4階平面図


X1
X2
X3
X4
X5
X6
X7
X8
X9
X10
X11
X12
X13
X14
X15
X16
X17
2,000
6,100
3,600
2,700
2,700
2,700
2,700
2,700
2,700
2,700
2,700
5,400
3,600
8,100
8,100
8,100
8,100
Y23
Y22
Y21
Y20
Y19
Y18
Y17
Y16
Y15
Y14
Y13
Y12
Y11
Y10
Y9
Y8
Y7
Y6
Y5
Y4
Y3
Y2
Y1
1,600
2,000
2,700
2,700
2,700
2,700
2,700
2,700
2,700
2,700
2,700
2,700
2,700
48,600
3,600
2,700
1,800
900
2,700
2,700
2,700
2,700
2,700
2,700
1,600
2,000
2,700
3,600
8,100
5,400
5,400
3,600
4,500
6,300
8,100
RP-1
RP-2
配管
取出口
配管
取出口
屋根５
3/100
階段A
DN
吹抜
屋根４
配管
取出口
屋上設備置場
上部
（斜線部：押えコン）
吹抜
（テラス上部）
配管
空調室外機
太陽光パネル
72,000
R階平面図

凡例

記 号	名称・仕様	備 考
	動力盤	
	電灯動力盤	
	分電盤	
	OA盤	
	制御盤	(別途工事)
	ケーブルラック	
	配線種別切替	
	ハンドホール	

注1 ▨ はケーブルラック防火区画貫通処理を表す。

注2 ―●― は防火区画貫通処理を示す(消防法上の不燃区画も同様の貫通処理とする)

※ 防火壁・耐火壁・防火上主要な間仕切壁又は床の防火区画貫通部措置は
国土交通省大臣認定工法により適正に防火措置を行う。

防火区画貫通措置材番号・他

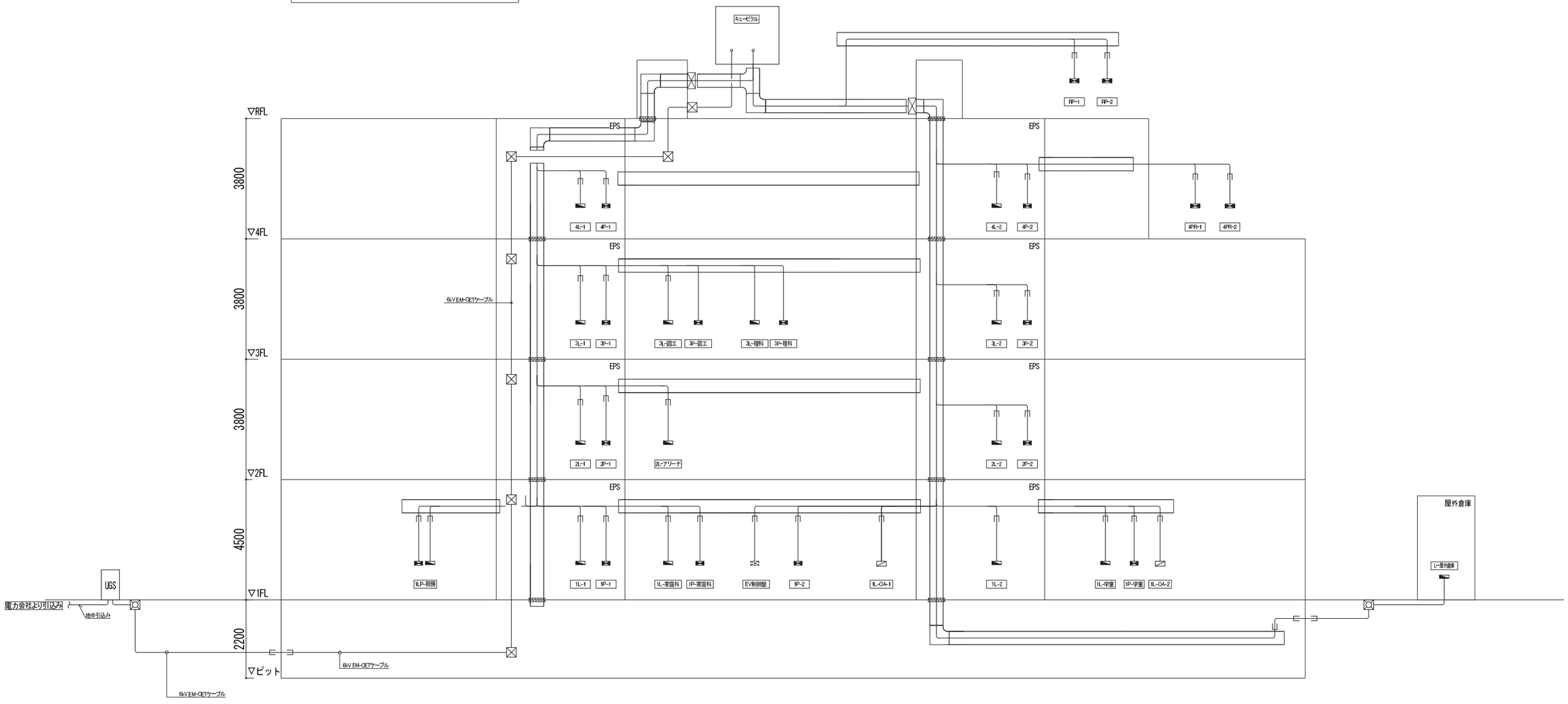
a. ケーブルラック貫通部防火措置材
国土交通大臣認定番号 PS060FL-0232(床) 同等品とする。
PS060WL-0231(壁) 同等品とする

b. 合成樹脂製可とう電線管 床・壁貫通部防火措置材
国土交通大臣認定番号 PS060FL-0280(床) 同等品とする
PS060WL-0305(壁) 同等品とする

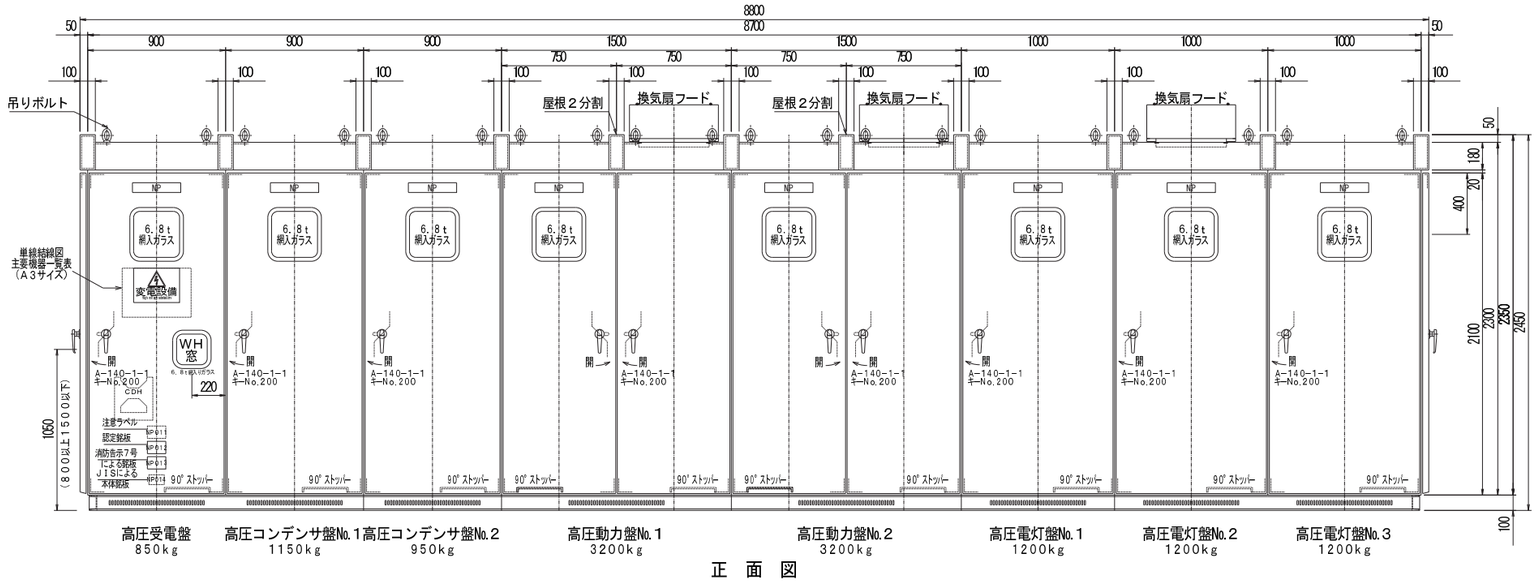
d. 床面OAフロアーPS配線貫通部防火措置材
国土交通大臣認定番号 PS060WL-0231(壁)同等品とする。

e. 1140区画に設置する配線器具(スイッチ類、コンセント類、弱電アウトレット類)の
裏BOXは金属BOXにて施工する。

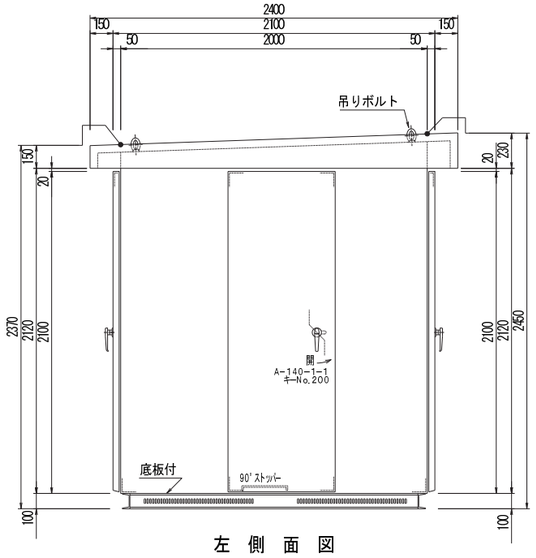
f. 1140区画の貫通部は前後1mを金属にて保護するか、又は認定工法にて施工する。



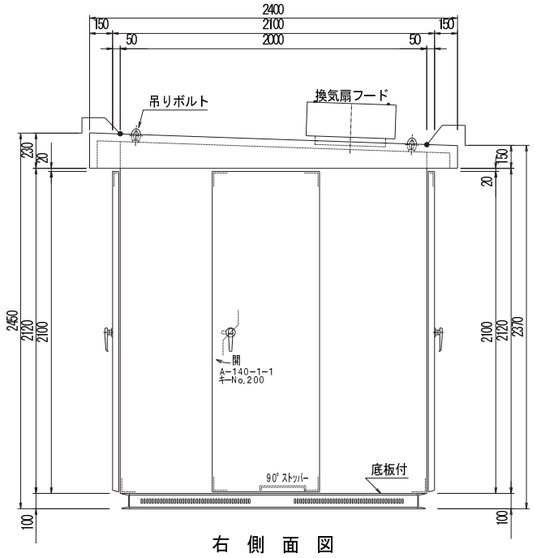
4 .受変電設備　機器姿図



正　面　図

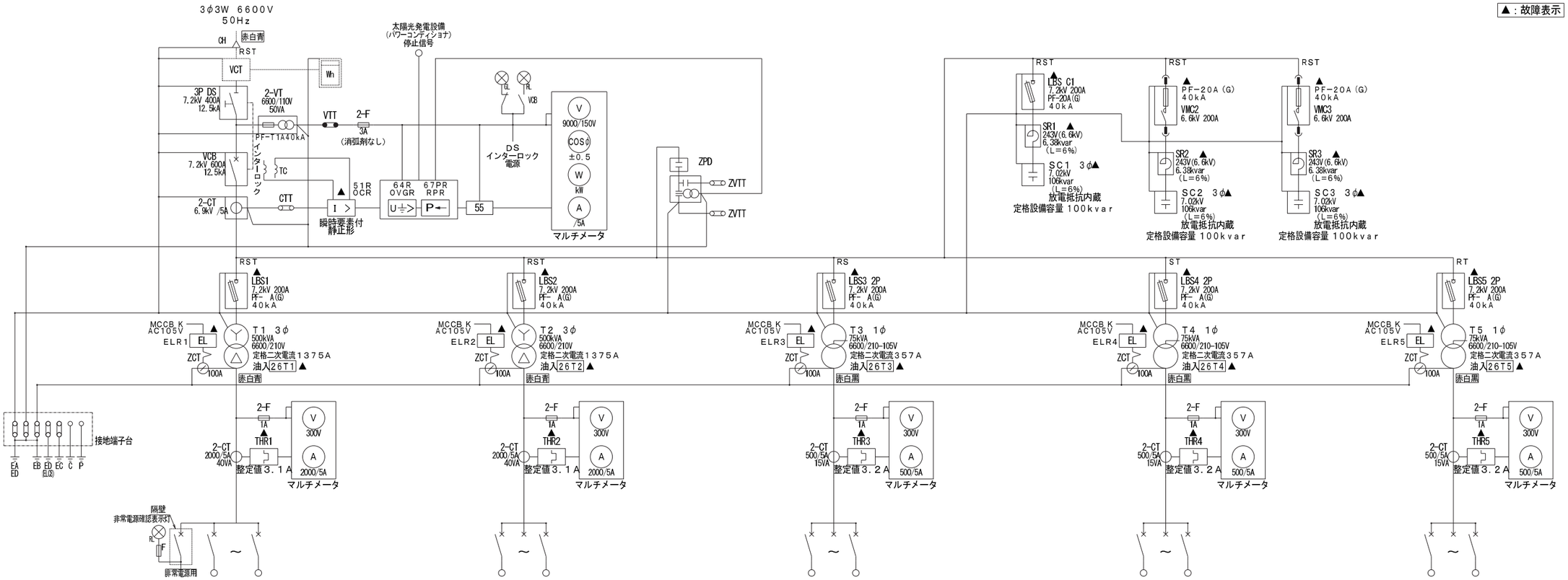


左　側　面　図

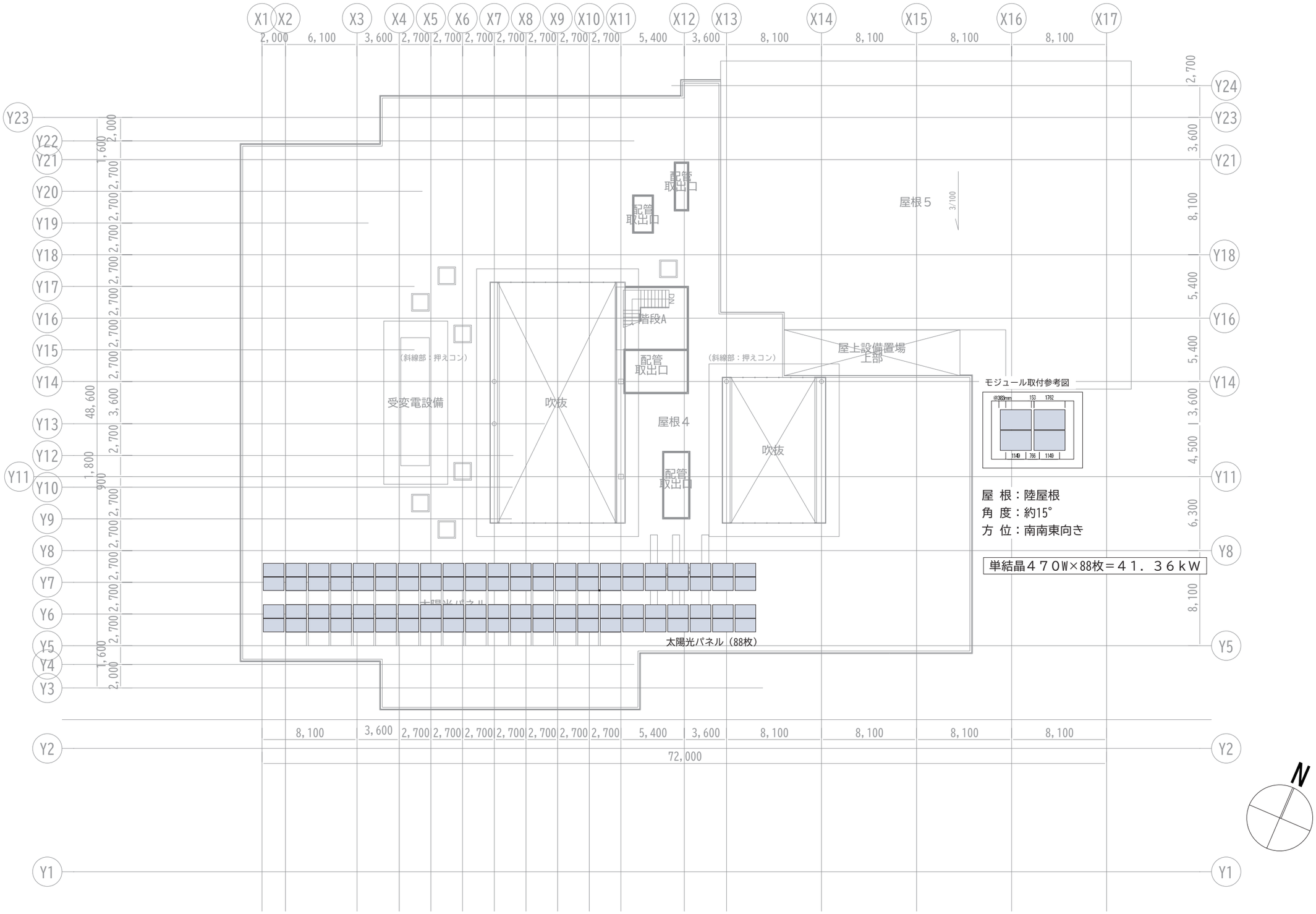


右　側　面　図

5.受変電設備　単線結線図



6 .太陽光発電設備　配置図



7.総合盤図（職員室、学童保育室）

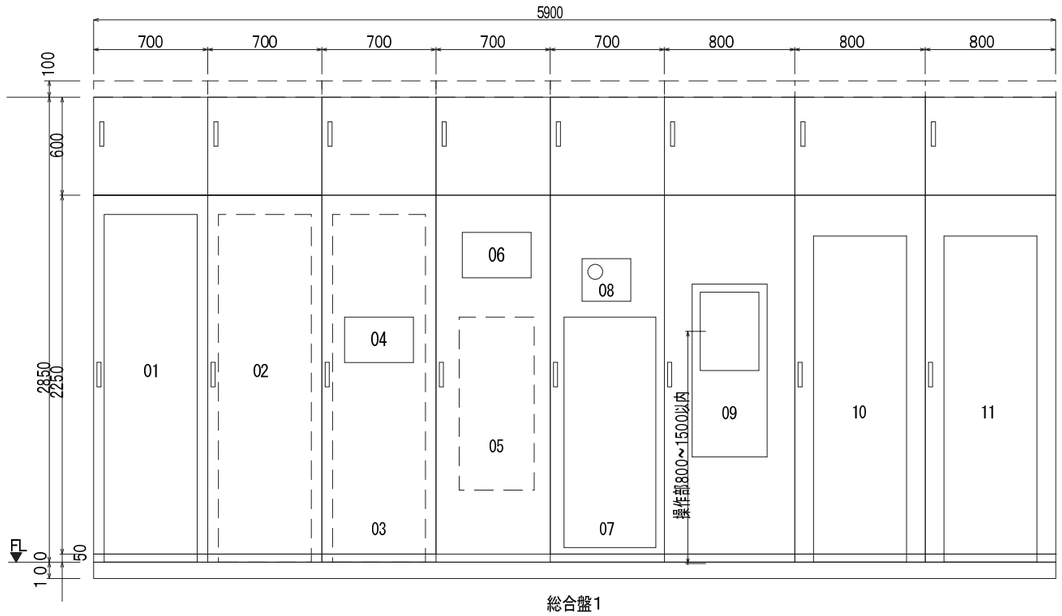
総合盤参考姿図（職員室、学童事務室）

総合盤1　（職員室）

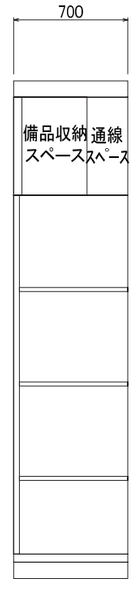
記　号	名　　称
01	電灯分電盤
02	サーバー機器スペース（19インチラック中身）
03	機械警備機器スペース
04	インターホン親機
05	監視カメラ機器スペース（モニター、録画装置）
06	トイレ呼出表示機器
07	ＭＤＦ
08	親時計
09	火災報知機受信機
10	非常放送架
11	太陽光発電データ収集装置

※1. 総合操作盤、盤内には木板（2000×600）を設けること。

※2. 指定色塗装とする。



総合盤1
【正面図】



【側面図】

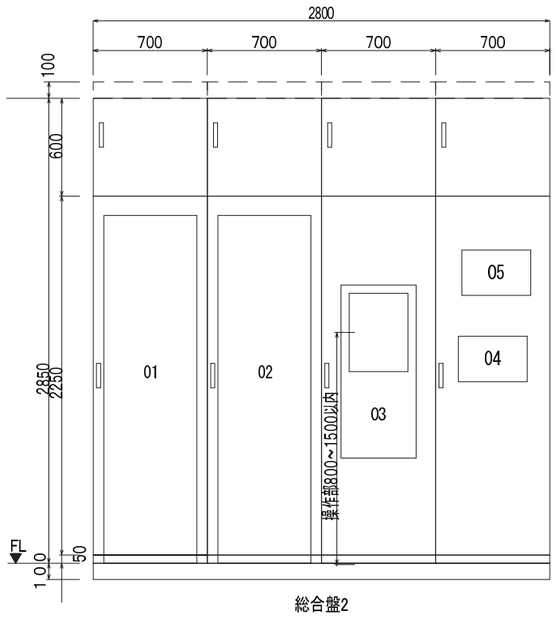
職員室　総合盤姿図

総合盤2　（学童事務室）

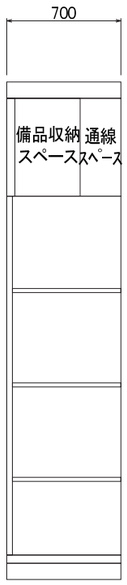
記　号	名　　称
01	電灯分電盤
02	動力制御盤
03	火災報知副受信機
04	インターホン親機
05	トイレ呼出表示器

※1. 総合操作盤、盤内には木板（2000×600）を設けること。

※2. 指定色塗装とする。



総合盤2
【正面図】

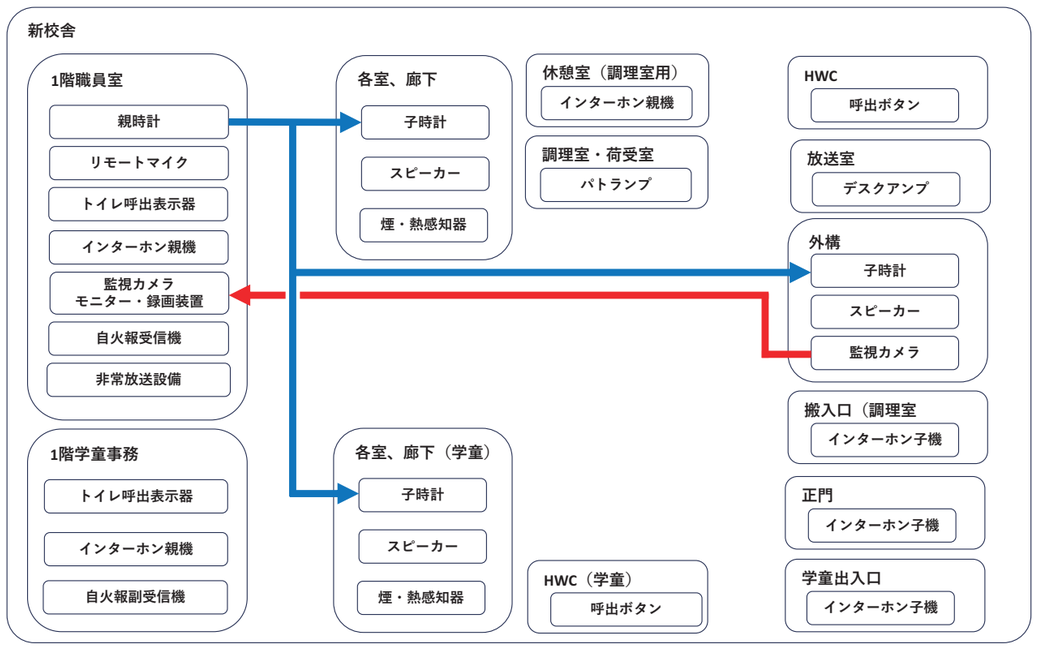


【側面図】

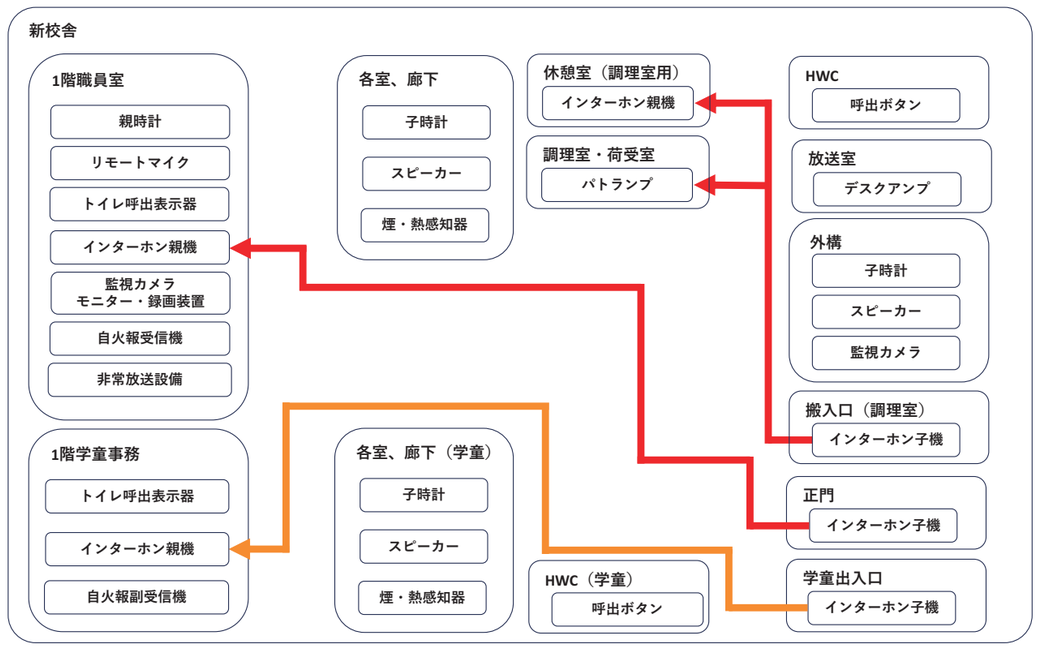
学童事務室　総合盤姿図

8 .弱電相関図

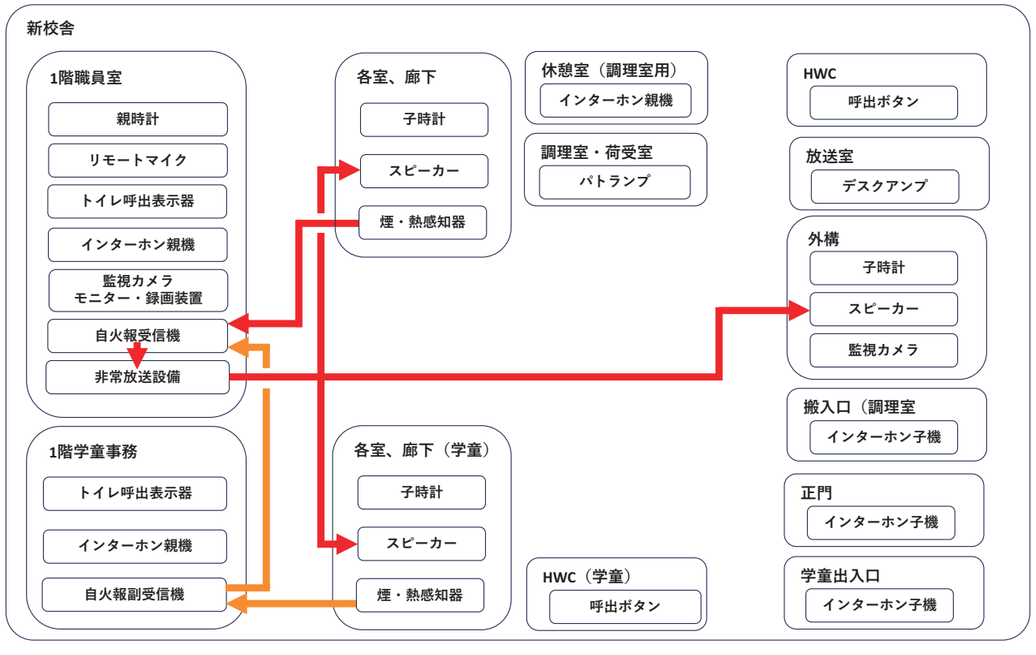
弱電相関図（常時）



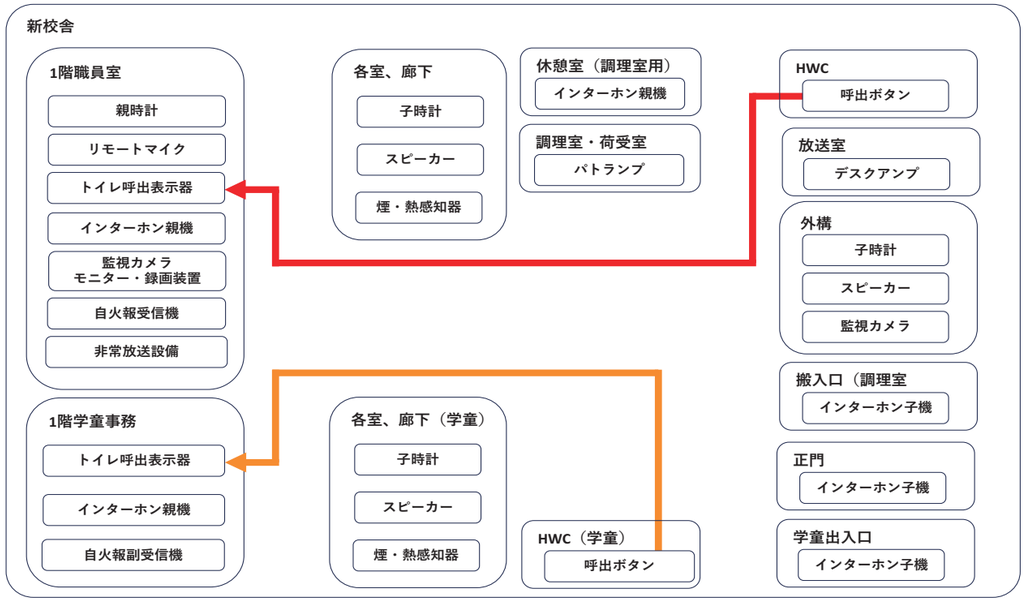
弱電相関図（来客時）



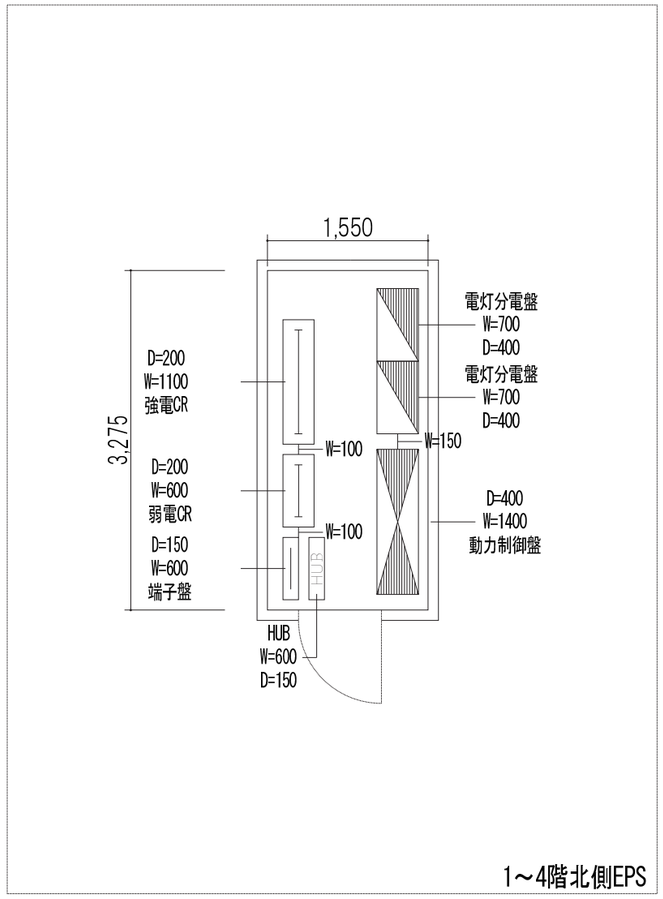
弱電相関図（火災時）



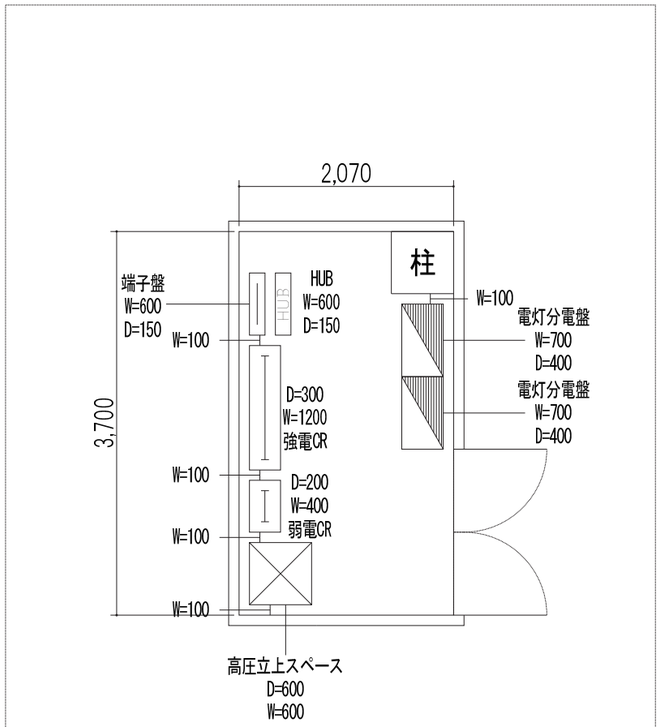
弱電相関図（HWCにて有事）



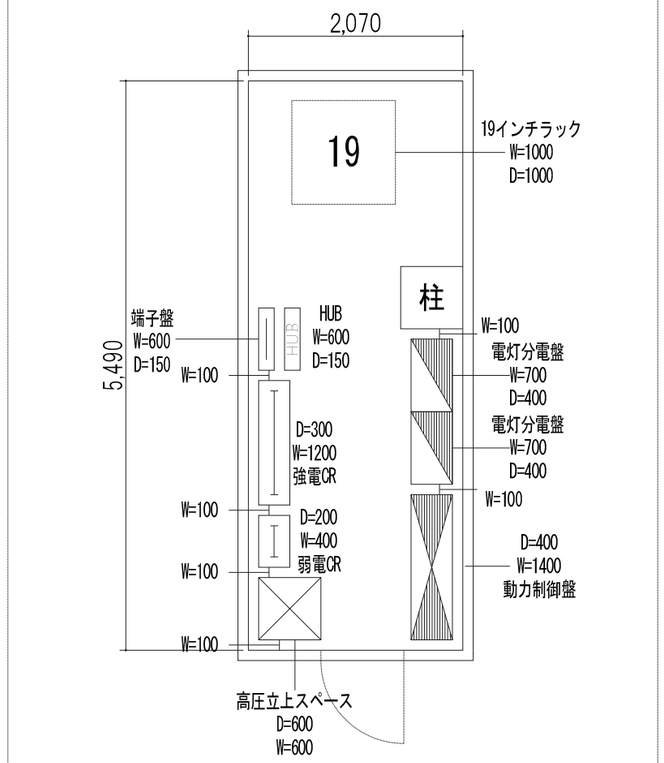
9 .EPS詳細図



1～4階北側EPS



1F南側EPS



2～4F南側EPS

・各盤及び各ラックは全て壁から100[mm]空ける。（木板は除く）

・ケーブルラックは区画の防火処理の為、ケーブルラックサイズ(W, D) ＋100[mm]の穴を開ける。